

デュアルシステム型現場実習

高等部職業コース・作業コースでの取り組み

■ デュアルシステム型現場実習（通称：デュアル実習）とは

「学校における職業教育」と「事業所における就労体験」を並行して実施する実習方法です。

「実習のなかで見つけた課題を学校で練習し、練習したことを次の実習で実践する」ということを繰り返すことで、職業自立に必要な力の育成や、個々の課題の克服を目指します。

「デュアルシステム」という名前は、中世から行われてきたドイツのマイスター制度（週の半分は学校で基礎学習を行い、残りの半分は企業で専門的技術など実務的な内容を学ぶ）に由来しています。

※茨城県教育庁特別支援課（H24）「特別支援学校生徒（発達障害等）を対象としたデュアルシステム型現場実習の手引き」より一部引用

■ 本校高等部職業コースでの取り組み

	水～月	火	水～月	火	水～月
学 校	練習	ふりかえり	練習	ふりかえり	練習
事業所		デュアル実習		デュアル実習	

- ・ 火曜日の午前中（10：00～12：00）

※年 10 回程度予定（基本は火曜日だが、行事等によって木曜日になることもあり）

- ・ 小グループで実施（生徒 3～5 名、引率職員 1～2 名）
- ・ 実施日の午後：校内にて実習のふりかえり

次の職業授業時間：各自の課題を練習

- ・ 高 2・3 の 2 年間で 2 事業所をローテーションし、すべての生徒が 2 業種（製造・小売業・医療福祉）を経験

<今年度>

株式会社坂東太郎

ウエルシア茨城境町店